

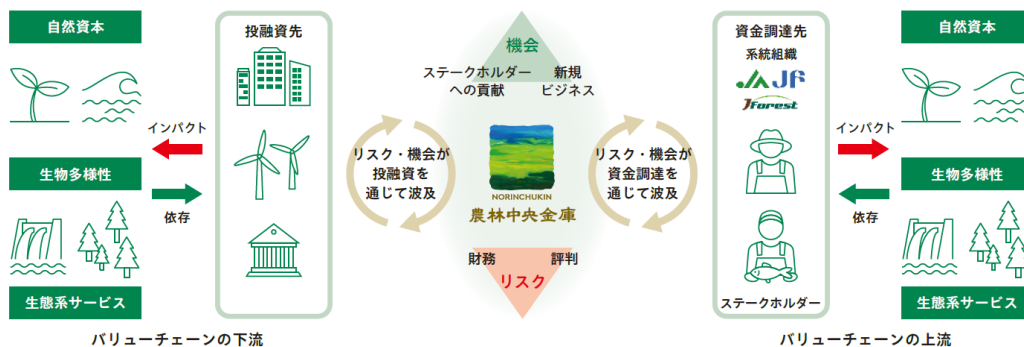
金融機関における脱炭素・自然資本・生物多様性への取組みについて  
— カーボンニュートラル・ネイチャーポジティブに向けたアプローチ —  
Action for Decarbonization, Natural Capital, and Biodiversity at the  
Norinchukin Bank  
— An approach toward carbon neutrality and nature positivity —

波多 信宏
Nobuhiro Hata

1. はじめに

農林中央金庫（以下当金庫）は、パーパスとして『持てるすべてを「いのち」に向けて』を掲げ、持続可能な農林水産業、地域、自然環境への貢献を進めている。特に農林水産業は脱炭素の要請がサプライヤーから強まり、今後、自然資本・生物多様性への配慮も不可欠である。当金庫は農業者や取引先との対話のうでバリューチェーンにおけるカーボンニュートラル（炭素中立）やネイチャー・ポジティブ（自然の劣化を食い止め、回復に転じること）に向けた支援を実施している。

当金庫は、農林水産業を基盤とする協同組織金融機関として、農林水産業に関わる人々から貯金を預かる農協（JA）や漁協（JF）などの会員から資金調達を行い、食農関連企業や一般事業法人への融資やグローバルに投資を行っている。当金庫のバランスシート（資産と負債）は深く農林水産業に関わっているため、気候変動や自然資本・生物多様性の劣化は、事業運営上対応すべき重要な課題であると認識している。



(出所) 農林中央金庫

2. 気候変動への対応

当金庫では投融資先 GHG 排出量の 2050 年ネットゼロにコミットし、投融資ポートフォリオの脱炭素化に向けた取組みを進めると同時に、持続可能な農林水産業および地域コミュニティ維持の実現に向け、2030 年中長期目標として「農林水産業者所得の増加」を掲げている。農林水産業・地域をとりまく課題と気候・自然関連課題は相互に関連する問題と捉え、担い手が抱える経営課題に対するコンサルティング活動や食農関連企業等への出資・融資を

通じたバリューチェーン構築支援等に取り組んでいる。

また取引先の食農関連企業の GHG 削減を後押しするために、取引先企業のバリューチェーン上の農業者への脱炭素に資する農業の転換をサポートする取組みも開始した。企業単体でも農業者単体でも達成できないバリューチェーンを通じた脱炭素アクションを、地域に根差した J A 等と連携して取組むことが重要と考えている。

### 3. 自然資本・生物多様性への回復・維持に向けた取組み

当金庫は 2022 年 11 月から TNFD（自然関連財務情報開示）タスクフォースメンバーを輩出し、金融機関との連携や、取引先への支援を異業種とのパートナーシップで進める等、自然資本・生物多様性へのアクションを強化している。自然関連の課題は気候変動のように単一の目標（1.5℃目標）を設定することが難しく、どのようなアクションを企業がとれば自然に対してポジティブなのか明確になっていないことがその要因である。

そこで、自然関連のアクションにおいて、当金庫が重要視しているのは、取引先の対話を通じたエンゲージメントと、その先にある取引先のネイチャー・ポジティブに向けたコンサルティング支援である。農林水産業は自然の一部でありつつも、ネガティブなインパクトを与える可能性のある産業であり、バリューチェーンにおいて農林水産業に関わる企業は調達する農産物等のネガティブなインパクトの削減に取り組む必要がある一方、十分な取組みができていない企業は少ない。取引先と対話して、ネイチャー・ポジティブに向かう上での課題を認識し、それに対してソリューション（知見や分析等）を提供し、取引先に伴走支援を行うことが、ひいては農林水産業や地域の基盤である自然資本・生物多様性への維持・回復につながると考えている。

### 4. まとめ

気候変動への対応は緊急度を増し、そして自然の保護と回復無くして 1.5℃目標を実現することは難しい。さらに、自然への対応の必要性も緊急度が増している。気候と自然の課題は不可分であり、統合的に捉え、着実に対応を進めていく必要がある。

しかし、当金庫が基盤とする農林水産業と同様に、気候や自然に対する取組みは一朝一夕に変化や成果は得られないが、着実に早期に対応を進める必要がある。

ビジネスやファイナンスの観点から、地域や気候変動・生物多様性へのアプローチを考えると最も重要なのは、できることはすべてやるという意識である。気候変動や自然資本・生物多様性の劣化は、待ったなしの状況であり、早急に対応をしないと Tipping Point を超える可能性がある。残された時間が少ないと認識し、金融機関としてあらゆる打ち手を講じ、様々なステークホルダーと連携することで、カーボンニュートラルとネイチャー・ポジティブが達成できると考えている。

農林中央金庫 Norinchukin Bank カーボンニュートラル ネイチャーポジティブ